

・インターロック主制御盤の Reset 方法

(MBS がしまっている事を確認してから行います。)

1. 光学ハッチの上にあるインターロック主制御盤のシャッター操作キーを図 1 のように「Auto」から「Manual」に変更する。



図 1 シャッター操作キー及びリセットボタン

2. 「RESET」ボタンを押す。
3. 図 2 のようにアラームレベル表示が全て緑になったことを確認し、シャッター操作キーを「Manual」から「Auto」に戻す。
(All Green に戻らなければ原因の対処を行い、再び Reset する。)



図 2 アラームレベル表示の例 “ALL Green”

- ・実験ハッチ切り替え（基本 BL のスタッフで行います。）

準備：(DSS または MBS がしまっている事を確認してから行います。)

1. ビームパイプの交換・取り付けが必要な箇所の真空を破ります。
(アラームが鳴るので PLC 右上の「STOP」を押します。)
2. 使用する実験ハッチのエンドストッパーを光軸上に動かします。
また使用する実験ハッチより上流のエンドストッパーを光軸上から退避します。
3. 使用する実験ハッチより上流の各ハッチ間にある真空計の SP をクリアできるように真空パイプをつなぎ、真空を引く。(墨出し名人を使い、パイプの位置を調整して下さい。)
4. EH3 及びハ EH4 で実験の場合、ハッチ 2 のすぐ下流ある手動バルブ (GV1) を開にします。(バルブの上下流に圧力差がある場合、真空計の表示が「20Pa」付近になってからバルブを開けます。)

PLC の RESET :

1. 光学ハッチの上にあるインターロック主制御盤のシャッター操作キーを図 1 のように「Auto」から「Manual」に変更する。(図 1 の 1 番目の手順)
2. 光学ハッチの上にあるインターロック主制御盤の画面右下の「SELECT.」を押し、使うハッチを選択し、「ENTER」を押す。(図 3)



図 3 実験ハッチ選択画面

3. PCL 画面下の「HUTCH SELECT」が使用する実験ハッチに変わったことを確認し、シャッター操作キー近くの「RESET」ボタン(黄色)を押す。(図 1 の 2 番目の手順)
4. アラームレベル表示が全て緑になったことを確認し、シャッター操作キーを「Manual」から「Auto」に切り替える。(図 1 の 3 番目の手順)